

首都圏空港の未来

～オープンスカイと成田・羽田空港の容量拡大～

成田空港、羽田空港の容量不足が、航空市場の拡大、ひいては国内の地域活性化やわが国の国際的発展のボトルネックとなっており、その解決が喫緊の課題です。

アジア経済圏の成長と航空市場の自由化、特に小型機による低価格、高頻度運航は、国際航空需要を拡大させることから、首都圏空港の更なる容量拡大が求められます。

このような状況下で、成田、羽田、茨城空港、横田飛行場の容量が将来どこまで拡張可能かや、羽田空港へのアクセス交通と周辺都市開発戦略などを長期的視野から見定めておくことが必要です。

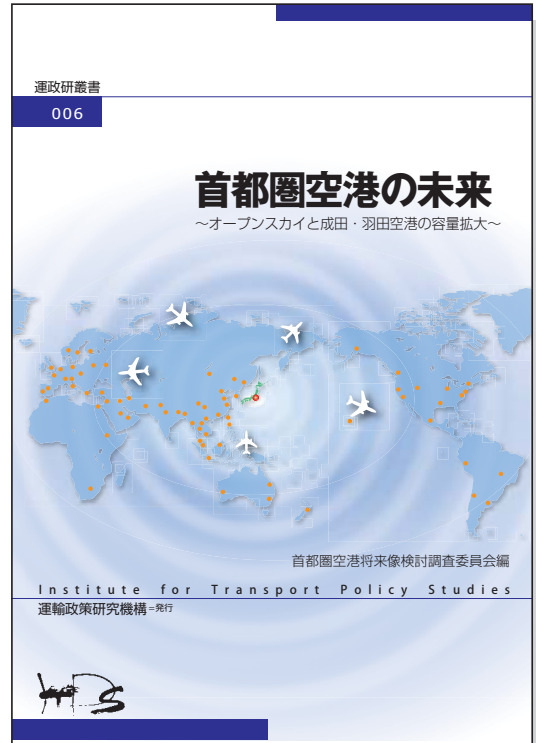
本書は、運輸政策研究所に設置した「首都圏空港将来像検討調査委員会」での研究成果に最新情報をできる限り加え取りまとめたものです。本書がこれらの課題解決に貢献できれば幸いです。

A5版 本文143ページ

首都圏空港将来像検討調査委員会編

発行：財団法人運輸政策研究機構

定価：2,900円（本体価格2,762円）送料別



平成22年10月発売

〈本書の主な内容〉

1. わが国および東アジア経済の動向等、わが国の航空を取り巻く環境の見通し
2. 首都圏空港の現状と課題
3. 国内外の交流を促進させる制度のあり方
4. 航空需要および首都圏空港の需要の見通し
5. 空港容量の拡大方策
6. 羽田空港の施設計画
7. 空港アクセスの整備



〈お申し込み・お問い合わせ〉

(財) 運輸政策研究機構 管理室出版担当

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19 虎ノ門マリビル

電話：03-5470-8410 **FAX：03-5470-8411**

FAX申込書

氏名

所属

〒

送付先

電話番号

数量

冊

上記のFAX番号に、このまま切らずに送付をお願いします。